

### 基本情報



【年齢】  
38歳  
【出身地】  
台湾 新北市 板橋区  
【転出元】  
日本 熊本県 熊本市  
【前職】  
熊本県  
海外展開コーディネータ  
【活動時期】  
R1.10～R4.10

### 協力隊に応募したきっかけ

2019年2月、台湾・基隆で開催された「県南・八代物産フェア」にて、初めて水上村産のお米と出会い、とても美味しく試食させて頂きました。約¥2000/キロの高値で設定されたにも関わらず、ほぼ完売という素晴らしい結果でした。

この結果をどうにか続けたく、もっとたくさんの方々に水上村産食品を召し上がって頂きたい気持ちで、同年8月、水上村の地域おこし協力隊に応募致しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

広大の山地を持ち、生産できる食材と食品は山ほどあると確信しました。とりあえず、生産性が高く、採算性が良く、付加価値が付けやすい3～5項目のものを定めて行きたいです。時間をかけても、任期終了後も、村産商品を定番化へ最善を尽くして参ります。

任期後、もし定番化が見込まれましたら、起業して、増量生産をしながら、商品の一つずつ最適な販路へ導いて、販路拡大と共に、海外市場も視野に入りたいです。

### 活動内容

#### ● 試食や試飲販売などの販路開拓サポート

海外での「県南・八代物産フェアin台湾」でも、県内での「緑化くまもとフェア花畑広場」でも、出展の他社より高い売上を獲得し、一人も多くの来店者へ当村の特産品を知ってもらい、今からのコロナ緩和後の観光誘致にも繋げると思います。



#### ● 生産や製造工程の検証、商品開発の実行

自然栽培のタケノコ・加工品も、二次加工のシカニク・ソーセージも、自分の手で作ってみて、生産過程の理解を強化し、製造工程を検証するためでした。今後の販売や営業にはより紹介ができて、次回の商品化にはもっと適切な製造改善を提案できるように下積みをしております。



#### ● 既存の村産商品の販路開拓と新規営業

県内外の和洋飲食店、食品製造者、及び小売転売社へ満遍なく村産商品を紹介し、まず売れ筋の可能性を探って、多数の販路を確保します。販路開拓により最低の卸売数量を確定できましたら、村生産者にも相談しやすく、計画を組みやすいと思います。今後の新規営業の基盤になります。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(職場番号) 0966-44-0312 水上村役場地方創生推進課